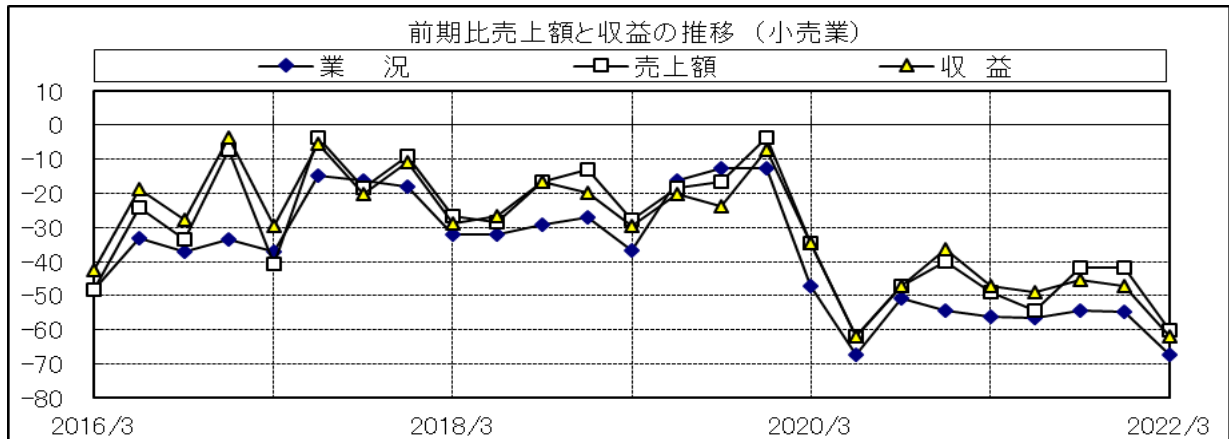


# 小売業 55企業 (回答率 100%) の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業況	-54.5	-54.6	-67.3	-52.7
売上額	-41.9	-41.9	-60.0	-30.9
収益	-45.4	-47.3	-61.8	-32.7

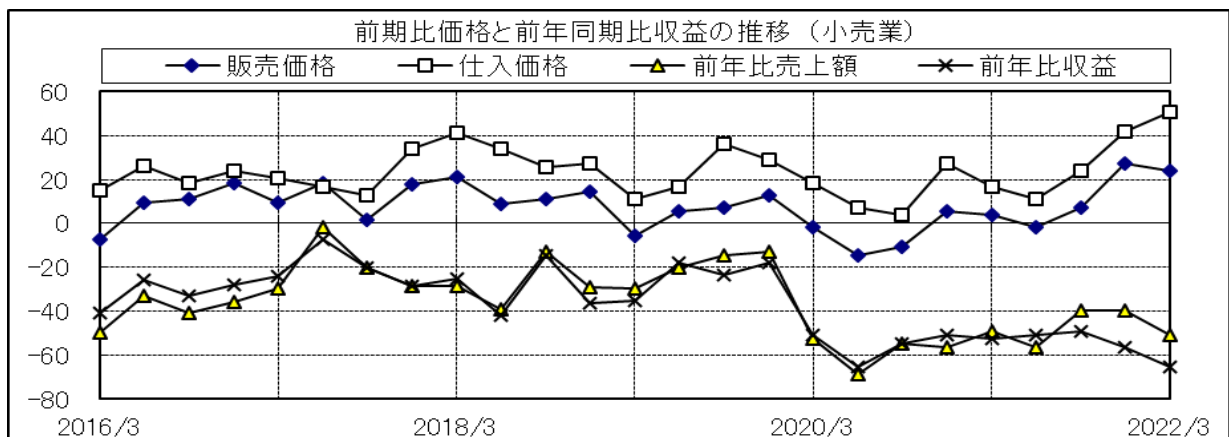
今期の業況判断 D.I. は△67.3 で、前期比 12.7 ポイント下降した。前年(△56.3)比 11.0 ポイント下降した。地区別の D.I. は高い順に、三石が最も高く、次に、様似、浦河、静内、広尾と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は△60.0 で、前期比 18.1 ポイント下降した。収益判断 D.I. は△61.8 で、前期比 14.5 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	7.3	27.3	23.7	25.5
仕入価格	23.7	41.7	51.0	49.0

販売価格判断 D.I. は 23.7 で、前期比 3.6 ポイント下降し、前年(3.7)比 20.0 ポイント上昇した。仕入価格判断 D.I. は 51.0 で前期比 9.3 ポイント上昇し、前年(16.4)比 34.6 ポイント上昇した。業種別の販売価格は、衣料は横這い、食品は下降、家電は上昇した。仕入価格は、衣料、食料、家電ともに上昇した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-3.6	-5.6	-16.4	-5.4
人手状況	-20.0	-23.6	-16.4	-21.8

残業時間判断 D.I. は△16.4 で、前期比 10.8 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I. は△16.4 で、前期比 7.2 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

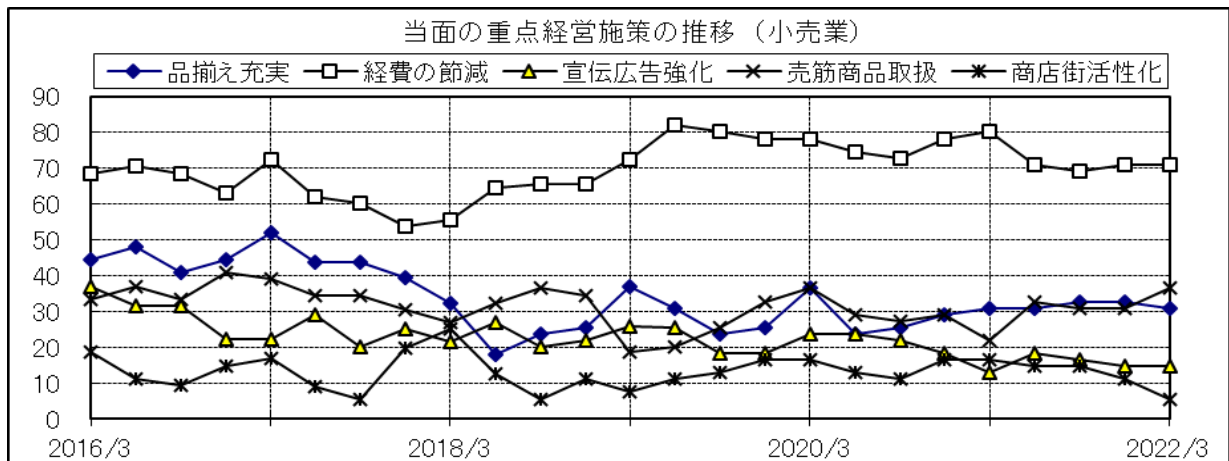
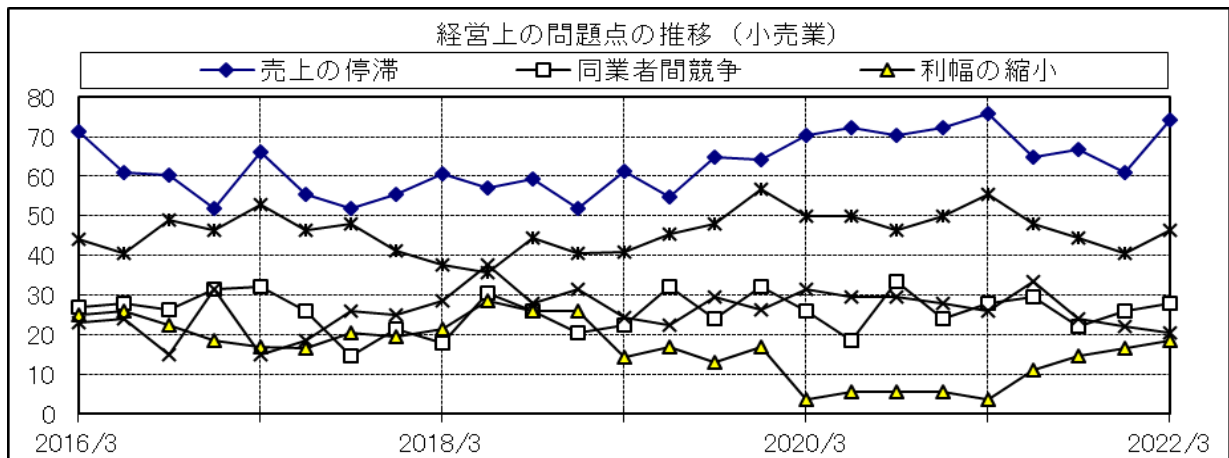
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△16.4で、前期(△10.9)比5.5ポイント下降した。設備実施企業割合は14.5で、前期(18.2)比3.7ポイント下降した。設備投資は、前期10社に対し8社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が74.1%と最も多く、次に「商圈人口減少」46.3%、「同業者競合」27.8%、「大型店競合」・「値上要請」が20.4%、「利幅縮小」・「取引先減少」が18.5%、「人手不足」11.1%、「商店街集客力低下」7.4%、「人件費増加」・「諸経費増加」・「地場産業衰退」が5.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.9%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」36.4%、「品揃え改善」30.9%、「人材確保」16.4%、「宣伝広告強化」14.5%、「仕入先開拓選別」10.9%、「商店街活性化」5.5%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△52.7と、今期比14.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△30.9と、今期比29.1ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△32.7と、今期比29.1ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は25.5と、今期比1.8ポイントの上昇を見通している。

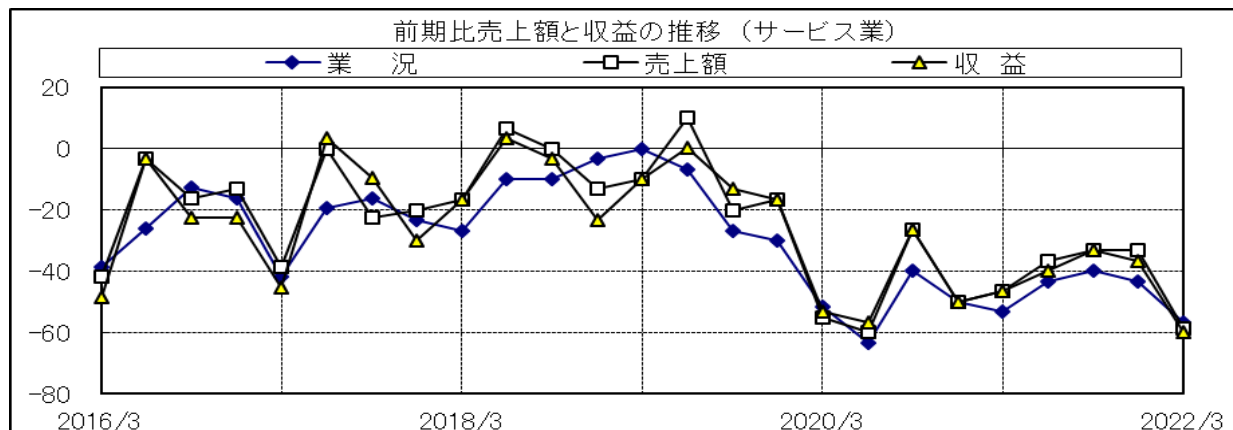
予想仕入価格判断D. I. は49.0と、今期比2.0ポイントの下降を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-40.0	-43.4	-56.7	-43.3
売上額	-33.3	-33.3	-58.7	-31.0
収 益	-33.3	-36.7	-60.0	-36.7

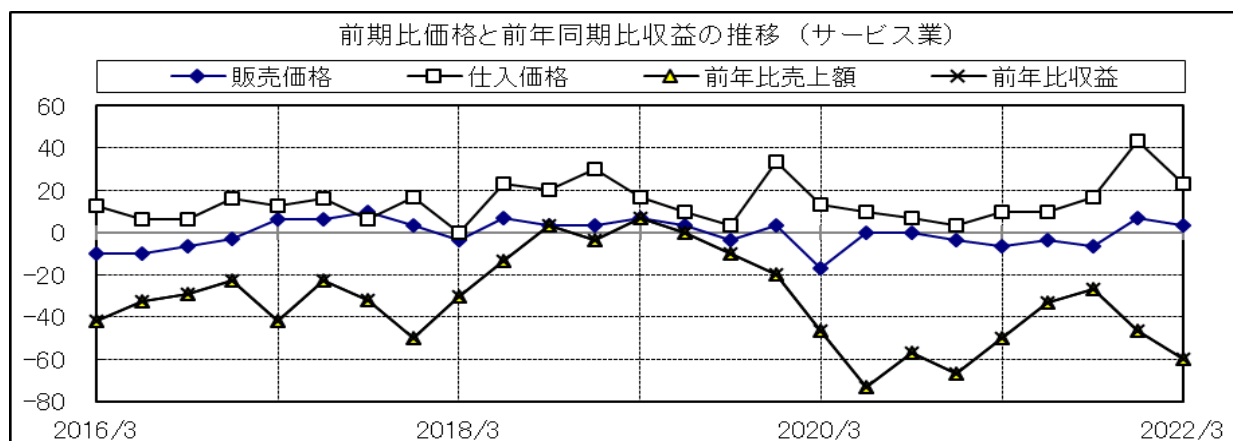
今期の業況判断 D. I. は△56.7 で、前期比 13.3 ポイント下降し、前年(△53.3)比 3.4 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に広尾、静内、浦河、えりもと続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△58.7 で、前期比 25.4 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△60.0 で、前期比 23.3 ポイント下降した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
料金価格	-6.6	6.7	3.3	10.0
材料価格	16.7	43.3	23.4	23.3

料金価格判断 D. I. は 3.3 で前期比 3.4 ポイント下降した。前年(△6.7)比 10.0 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 23.4 で、前期比 19.9 ポイント下降した。前年(10.0)比 13.4 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業、洗濯理美容業は横這い、自動車整備業は下降。材料価格は、全業種で下降している。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-10.1	-10.0	-20.7	-6.7
人手状況	-23.4	-40.0	-23.3	-23.3

残業時間判断 D. I. は△20.7 で、前期比 10.7 ポイント下降し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△23.3 で、前期比 16.7 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

## □ 設備投資の動き

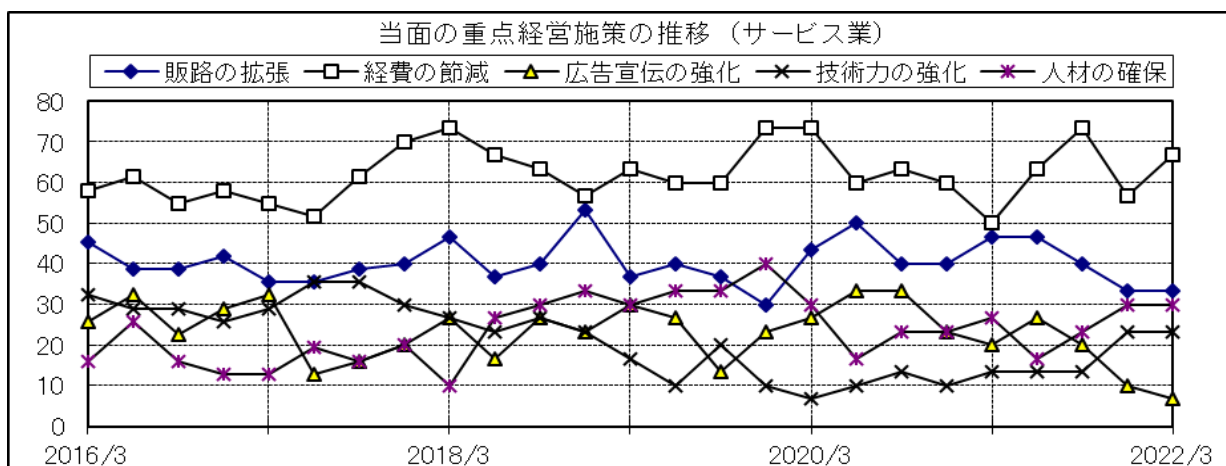
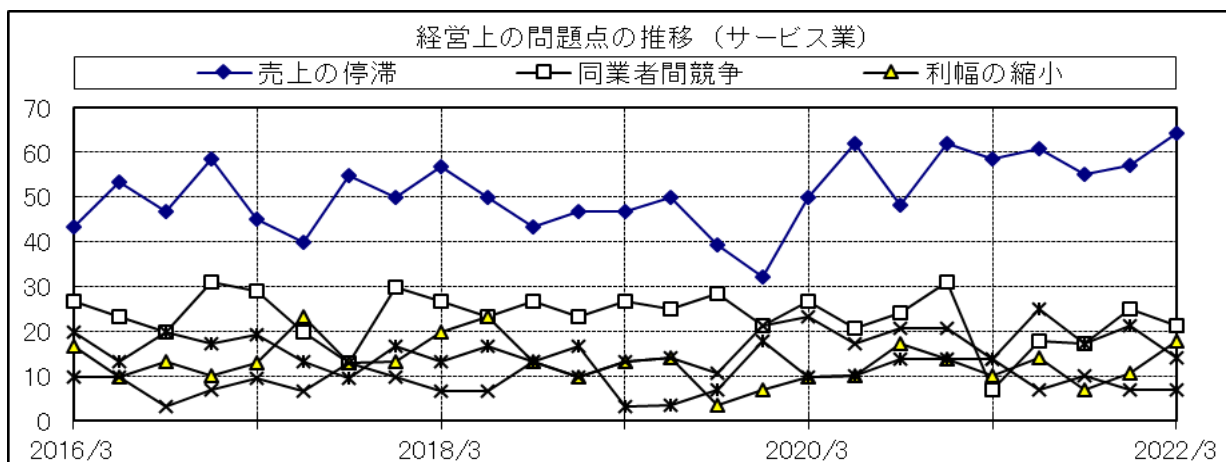
設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 10.0$ で、前期( $\Delta 13.3$ )比3.3ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は6.7で、前期(10.0)比3.3ポイント下降した。設備投資は、前期3社に対し、2社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が64.3%と最も多く、次に「人手不足」28.6%、「材料価格上昇」・「商圈人口減少」が25.0%、「同業者競合」21.4%、「利幅縮小」17.9%、「地場産業衰退」14.3%、「取引先減少」10.7%、「大手企業競合」・「合理化不足」・「人件費増加」・「店舗設備老朽化」が7.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が66.7%と最も多く、次に「販路拡大」33.3%、「人材確保」30.0%、「技術力強化」23.3%、「教育訓練強化」・「労働条件改善」が10.0%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 43.3$ と、今期比13.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 31.0$ と、今期比27.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 36.7$ と、今期比23.3ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は10.0と、今期比6.7ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D.I.は23.3と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。